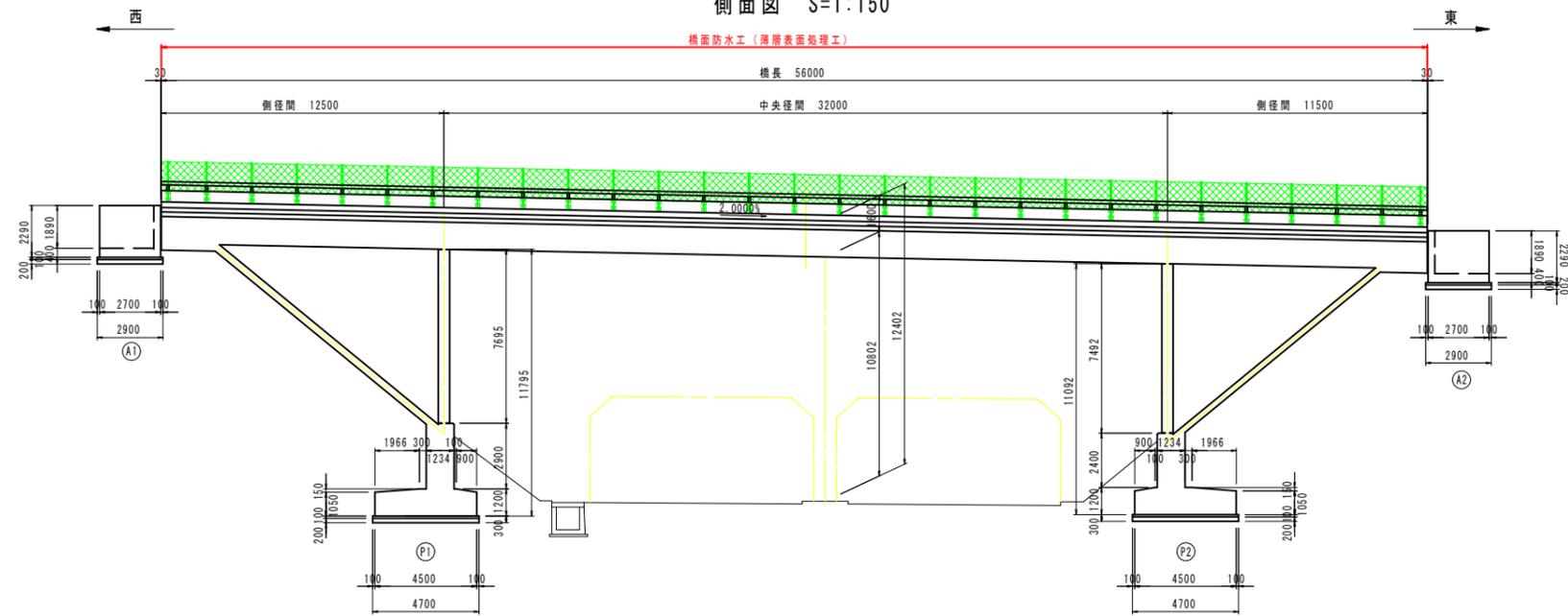
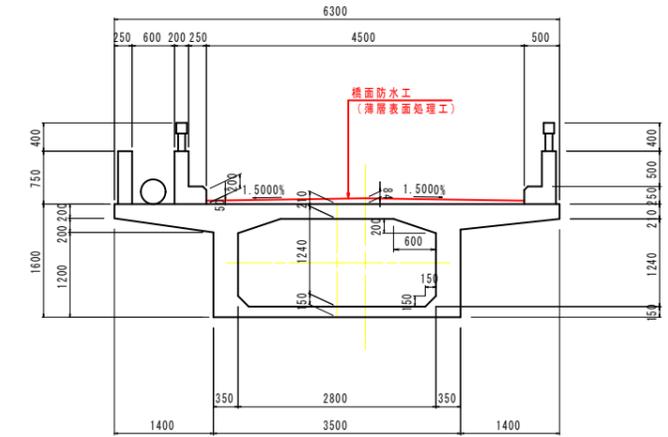


# 小沢北原2号線 小沢北原橋 補修一般図

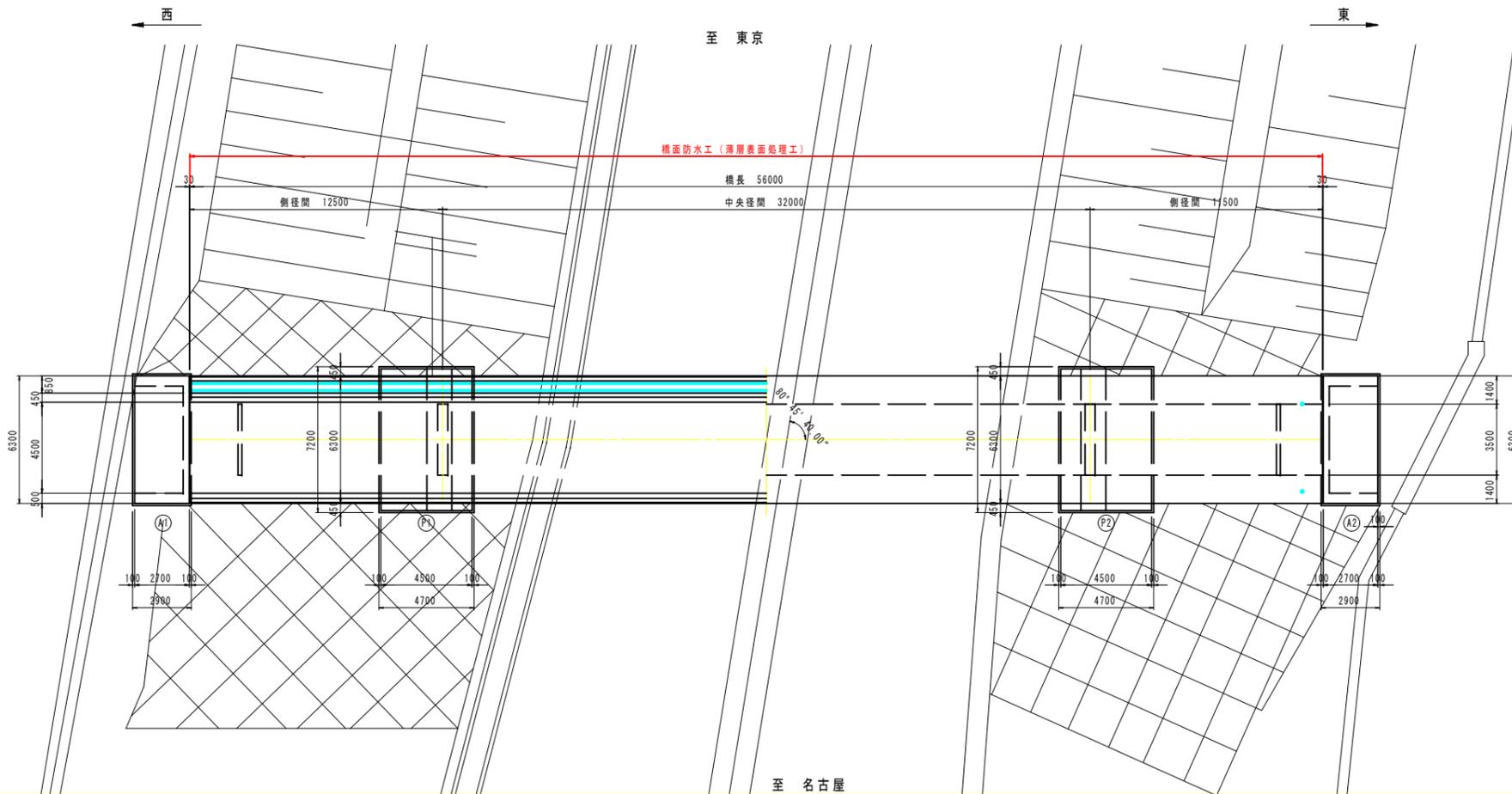
側面図 S=1:150



標準断面図 S=1:50



平面図 S=1:150



小沢北原橋補修内容一覧表

部位・部材	施工内容
上部構造	橋面
	橋面防水工 (薄層表面処理工)

設計条件

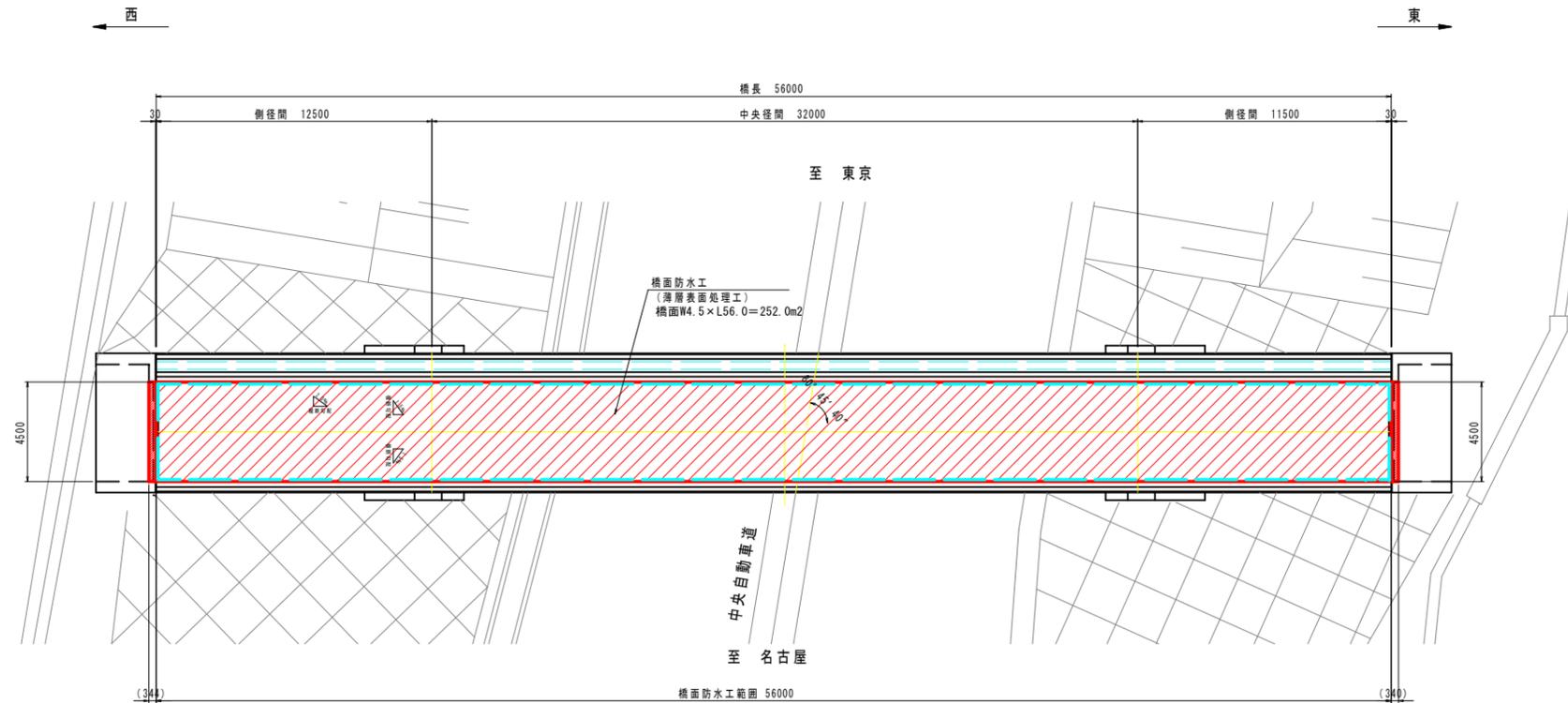
道路規格	不明
型式	3径間連続PC斜材付 $\alpha$ 型ラーメン箱桁橋
橋長	56,000 m
支間	側径間 12.5m + 中央径間 32.0m + 側径間 11.5m
幅員構成	全幅 6.3m・有効幅員 4.50m・水路 0.6m
斜角	A1橋台 90°, A2橋台 90°
勾配	横断面勾配 1.50% 縦断勾配 2.00%下り
線形	$\infty$
設計荷重・等級	TL-14 2等級
衝撃係数	不明
床版厚	鉄筋コンクリート 21.0cm
舗装厚さ	コンクリート舗装 t=5.0~8.4cm
基礎形式	直接基礎
供用開始	1974年 11月 1日
適用示方書	昭和47年 道路橋示方書

令和6年度 橋梁長寿命化事業			
小沢北原橋橋面防水工事			
番号	1/2	補修一般図	縮尺 図示
伊那市 小沢区			
小沢北原2号線 小沢北原橋			
設計会社	株式会社ワイド		
測量会社			
調査会社			
伊那市			

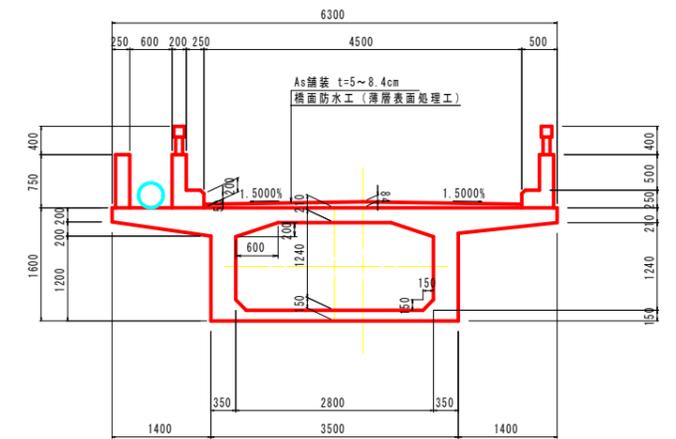
# 小沢北原2号線 小沢北原橋 橋面補修図

## 橋面防水工

平面図 S=1:150



標準断面図 S=1:50

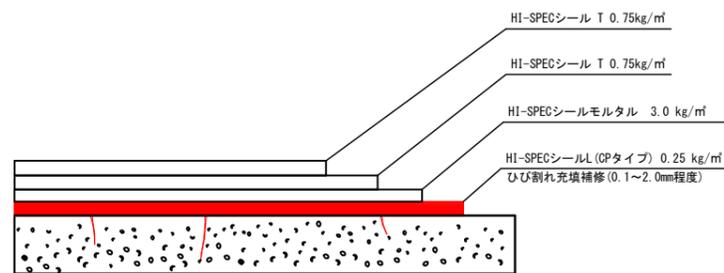


数量表 (橋面防水工)

名称	仕様	単位	数量	備考
橋面防水工	防水工	薄層表面処理工	m2	252.00

### 薄層表面処理工 詳細断面図

HI-SPECシール工法 (CPタイプ 厚塗り仕様) (同等品)



【工程および標準使用量】

使用材料	標準使用量	工程
① HI-SPECシールL (CPタイプ)	0.25kg/m <sup>2</sup>	1層目塗布
② HI-SPECシールモルタル	3.0kg/m <sup>2</sup>	2層目塗布
③ HI-SPECシール T	0.75kg/m <sup>2</sup>	3層目塗布
④ HI-SPECシール T	0.75kg/m <sup>2</sup>	4層目塗布

【性能】

項目	要求性能	使用基準および法律
防水性試験 I	0.2ml 以下	道路橋床版防水便覧
すべり抵抗性	60BPN 以上	舗装施工管理要領・舗装設計施工指針
危険物区分	非危険物であること	消防法

### 施工手順フロー



注) 薄層表面処理工

- ・事前に現地確認を行い、施工箇所の範囲および詳細寸法を照査のうえ数量決定のこと。
- ・舗装面の清掃、下地処理を怠ると付着性が確保できないため、コンクリート粗面を露出させること。
- ・舗装上の汚れ、遊離石灰などは、サンダーケレン・高圧洗浄などにて入念に除去すること。
- ・各層の塗布手順、塗布方法、使用量および環境条件等を厳守すること。
- ・地覆除で路面水が流れるため、地覆 (両側) において薄層処理の立ち上がりをつけること。
- ・メーカー仕様書、施工手順を確認のうえ、適切に入念な施工を行うこと。

令和6年度 橋梁長寿命化事業 小沢北原橋橋面防水工事			
番号	2/2	橋面補修図	縮尺 図示
伊那市 小沢区			
小沢北原2号線 小沢北原橋			
設計会社	株式会社ワイド		
測量会社			
調査会社			
伊那市			